

2024年11月28日
TOPPAN 株式会社

TOPPAN、「映文連アワード 2024」
コーポレート・コミュニケーション部門優秀受賞
「NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI®」で上映している
高品質高精細映像「Meet Japan!®」の 12K 映像作品「生彩」が高く評価

TOPPAN ホールディングスのグループ会社である TOPPAN 株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:齊藤 昌典、以下 TOPPAN)は、2023 年に制作した 12K 映像作品「生彩(読み:せいさい)」が高く評価され、公益社団法人映像文化製作者連盟が主催する「映文連アワード 2024」のコーポレート・コミュニケーション部門の優秀賞を受賞しました。

映像作品「生彩」は、TOPPAN が 2018 年に開設した、日本各地の国宝や重要文化財、観光資源の魅力を先端表現技術で世界に発信する地方創生/観光立国の共創拠点「NIPPON GALLERY TABIDO MARUNOUCHI®」に設置された、高さ 2.7m×幅 13.5m の LED ビジョンで、オープニング映像として上映されています。また本映像作品は、TOPPAN オリジナル高品質高精細コンテンツ「Meet Japan!®」の最新作として制作されました。



授賞式の様子 国立新美術館にて

■ 「映文連アワード」について

「プロフェッショナルが選ぶ、プロフェッショナルの仕事にふさわしい作品」を積極的に発掘・顕彰することによって、短編映像業界の活性化を図るとともに、次世代を担う新しい才能(学生・個人)を発掘し、映像業界のインキュベータとしての機能も担うことを目的に創設されました。

募集部門は「コーポレート・コミュニケーション部門」、「ソーシャル・コミュニケーション部門」、「パーソナル・コミュニケーション部門」からなり、本年度は 3 部門合わせて 105 作品の応募がありました。

■ 「Meet Japan!®」について

「Meet Japan!®」は、TOPPAN の映像クリエイターが印刷テクノロジーを駆使して撮影した、歴史的文化財や自然遺産をはじめ、伝統芸能、工芸、四季、食などのさまざまな日本の魅力を体感できる臨場感溢れる高品質 4K 映像が 50,000 ショット以上蓄積されている TOPPAN オリジナル 4K 映像コンテンツライブ

ラリです。近年、4K 機器の標準化と普及により、世界各国の大使館や領事館をはじめ、日本の文化や魅力を伝える在外施設、国内のホテルや観光地などで活用されています。

また、今後求められていく画像や映像といったデジタル視覚データのあるべき品質基準と、デジタルデータの知的財産に関する、安全安心なコンテンツ制作・活用の取り組みとして、地域社会とのアライアンスにより、著作権・版權を TOPPAN が保有する、国際観光推進/地域活性化を目指すプロジェクトです。



Meet Japan ! ® 最新作「生彩(せいさい)」

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上